

気づきの向こう側

平成30年4月27日(金)

自問清掃通信 第1号

いよいよ平成30年度の自問清掃がスタートしました。今年度も新たな3つの玉、「根気玉」「親切玉」「発見玉」を磨いていきます。

根気玉・・・進んで清掃に取り組む強い心

根気玉を磨くことで、まじめに取り組む自分に**気づく**

親切玉・・・人を助けてあげる心

親切玉を磨くことで気配りができ、周りで困っている人に**気づく**

発見玉・・・新しいことを見つける心

発見玉を磨くことで、自分の成長に**気づく**。友人の素敵なところに**気づく**

3つの玉を磨いていくことで、多くの気づきが生まれます。そして、その“気づきの向こう側”には、自分にしか知ることのできない私に出会えることでしょう。

自問清掃とは

「気づきの清掃」である！



今年度から、Myぞうきんを毎学期ごとに替えることにしました。2・3年生のみなさんは、1年間Myぞうきんを使用していた人たちも沢山いました。ほつれたり、穴の開いたMyぞうきんで床を磨き続けました。ひろがった穴の形で、自分のMyぞうきんかどうか見分けていました。今後、一学期間使ったMyぞうきんは、靴の汚れをぬぐったり、緊急時に役立ったりと、自分の手を離れたところで活躍し続けるでしょう。

過去の自問通信より・・・

「きみがうれしいから ぼくもうれしい」平成18年4月21日第4号より、ぞうきんを二つ折りにしてふいてみてください。汚くなったら折り返し、汚くなったら裏返し・・・、と上手に使いえば4回も使えます。すると、ぞうきんは裏も表も真っ黒です。時々、手のひらの形に真っ黒になったことはありませんか？あれを見ると、「ああ、手に勝る道具はないなあ」なんて思います。ぞうきんは人間の手にもなってくれるのです。

日の光に干されてパリパリになったぞうきんが好きです。そのぞうきんに水を含ませた瞬間の急速にやわらかくなる感覚も好きです。毎日、同じぞうきんを使っていると、たかがぞうきんに愛着がわくものです。自分の心が真っ白になっていく代わりに、ぞうきんは真っ黒になっていきます。

長い歴史の中で、この自問通信も受け継がれていることのひとつとなります。

床を磨く姿は、10年以上変わらない弥北の風景と化しています。今日も同じ光景を目にし、15分間という私だけの時を刻んでいくことでしょう。

(文責 山口 郁子)